



ゴシゴシ水洗いすると なぜウールは縮む??

ウールのセーターなどをゴシゴシと水洗いすると、びっくりするくらい縮んでしまいます。なぜ?

◎自然なウールの表面には温度調節をするウロコ状の装置があります

顕微鏡で観察するとウール繊維の表面は、ウロコのようなスケールといわれるものでおおわれています。これは、湿気を吸収すると開き、乾燥すると閉じます。このことによって、ウールの生地は、湿気を吸収発散してくれるので、快適な着心地になります。

しかし、水中で揉み洗うとスケールが開き、繊維どうしがからみ合って縮みます。ドライクリーニングでは、水ではない油性溶剤で洗うので縮むことはありません。

防縮ウール加工とは、この自然の機能を不能にしたものです。



◎図解の解説

手袋を水の中でゴシゴシと洗うと縮んで小さくなります。自然なウール繊維の表面は、ウロコ状のスケールでおおわれていて、水を吸収するとスケールが開くので、水中で揉むと繊維どうしがからみあって縮んでしまいます。